

中 1 歴史 織田信長と豊臣秀吉の統一事業

講師：河原 数馬

<学習内容>

- ▶ 織田信長
- ▶ 豊臣秀吉
- ▶ 豊臣秀吉の国内政策
- ▶ 豊臣秀吉の対外政策

織田信長

■織田信長

尾張国（現：愛知県）に生まれる。



▲織田信長

織田信長

■織田信長の戦い

1560年 桶狭間の戦い：駿河（現：静岡県）の今川義元を破る。

1573年 室町幕府を滅ぼす：15代将軍足利義昭を京都から追放。

1575年 長篠の戦い：鉄砲による集団戦法で甲斐（現：山梨県）の武田勝頼を破る。



織田信長（本能寺の変）

■本能寺の変（1582年）

織田信長は家臣の明智光秀に攻められ、自害する。

豊臣秀吉（全国統一）

■豊臣秀吉

秀吉はもともと信長の家臣であった。明智光秀を破り、全国統一を進める。

■全国統一

秀吉は関白・太政大臣となって政治を行い、九州の島津氏や関東の北条氏を破って全国を統一した。

▶豊臣秀吉



▶動き
天下統一までの豊臣秀吉の



豊臣秀吉の国内政策

■^{たいこうけんち}太閤検地

太閤検地とは豊臣秀吉がおこなった検地のこと。これまで不統一だったものさしやますを統一し、全国の田畑の広さやよしあしを調べ、^{しゅうかくだか}予想収穫高を^{こくだか}石高であらわした。

⇒農民は土地所有の権利を認められたが、^{ねんぐ}年貢を納める義務もあった。

■^{かたながり}刀狩

秀吉は農民の一揆を防ぎ、耕作に専念させるために、農民や寺社から武器を取り上げた。

⇒農民と武士の身分がはっきり区別された（^{へいのうぶんり}兵農分離）。

豊臣秀吉の対外政策

■朝鮮出兵（朝鮮侵略）

朝鮮出兵で豊臣秀吉が朝鮮半島に攻めこむ。明の援軍や李舜臣イスンシンの水軍に補給路を断たれ、日本軍は苦戦する。

秀吉の死（1598年）とともに日本軍は朝鮮から撤退する。



▲日本軍と朝鮮軍の進路

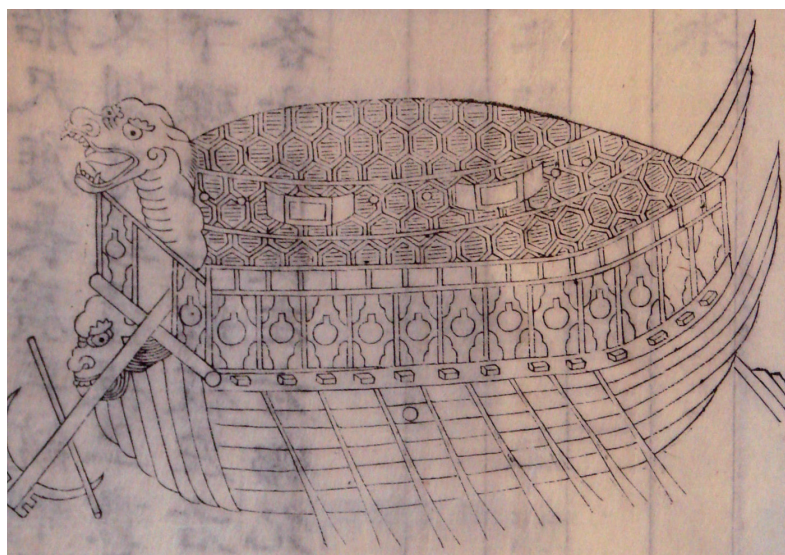
豊臣秀吉の対外政策

日本軍



▲日本の鉄砲隊

朝鮮軍



▲亀甲船

VS



▲李舜臣

四択問題 ①

織田信長の説明として正しいものを選びなさい。

- ① 桶狭間の戦いで今川義元に勝利した。
- ② 長篠の戦いで武田信玄に勝利した。
- ③ 足利義政を京都から追放し室町幕府を滅ぼした。
- ④ 織田信長は本能寺の変で家臣の石田三成に攻められ自害した。

四択問題 ②

豊臣秀吉の説明として誤っているものを選びなさい。

- ① 太閤検地を行い、全国の収穫高を把握した。
- ② 一揆を防ぐため、刀狩が行われた。
- ③ 摂政や太政大臣となり政治を行った。
- ④ 2度にわたって朝鮮に出兵した。

記述問題

豊臣秀吉が行った刀狩の目的について、「一揆」という言葉を必ず用いて説明しなさい。